



1学期を振り返って

72日（1年は70日）あった1学期が終わりました。その中には宿泊研修や職場体験、体育会、地区大会等たくさんの行事、そして日々の授業や単元テストもありました。人は完璧な生活をするのは難しいですが、「がんばった！」と胸を張って言えるものが必ず1つはあります。他人と比較する必要はありません。そして、1学期始業式や入学式で話をした「自ら学ぶ」ことはできましたか？「人権について」考えることができましたか？夏休みは各教科の学習だけでなく、家庭や地域での体験や新聞等で見聞きする情報から、多くを学び、考え、自分を高めていきたいものです。また成長した姿を2学期に見せてくれることを期待しています。

学級弁論大会

7月に入り、学級弁論大会が行われました。自分の考えをクラスの仲間に伝えます。これには「自分の考えをもつ」「自分の体験や生活に注目する」「伝える言葉を選択する」が必要です。幼い頃は言葉を巧みに使えないため、周囲の人へ自分の気持ちを伝えることができず、泣いたり怒ったりすることがよくあります。それから言葉を使って表現することが上手になり、人に正確に伝えることができるので、トラブルが減ります。現代はSNSで短文であったり簡単な同じ言葉で伝えたりすることが増え、相手に気持ちを正確に伝えることが難しいようです。自分の想いを言葉にして伝えることは、これからの社会でも必要な力です。どのクラスもよい学級弁論大会ができました。



海岸清掃がありました

7月13日（土）に吉浦海岸、15日（月）に鉾島海岸の清掃活動へどちらも約25名の生徒がボランティアとして参加し、地域の方と一緒に美しい海岸を保つためにゴミ拾いをしました。自分たちが生活している地域の環境保全のために、積極的に地域活動に参加していきましょう。



自分の未来を想像しよう

1学期末に「志カード」を記入しました。「何が得意か」「何ができるようになりたいか」「どんな貢献ができるか」を考えながら、自分の将来を想像しました。『色々な世界をみて感動する』『でかいキャンピングカーで日本一周する』『子どもと関わって、“人”だからこそできる仕事をしたい』。大人になった自分の姿を想像するのは難しいことかもしれませんが、少しずつ土台固めをしていきたいものです。

未来を創造していく中学校でありたい

東見中学校へ4月に赴任し、3か月半が経ちました。1学期は大変お世話になりました。ありがとうございました。様々な方と出会い、この土地のすばらしさを感じる日々です。私は海のない土地で育ちましたので、波音とともに海岸清掃をするのもうれしくなる程です。海岸にある透明なものが海藻なのかビニールなのか、白いものが発泡スチロールの残骸なのか貝殻なのか一目ではわからないということも初めて体験しました。まだまだ学ぶべきことが多くあると痛感しました。東見中学校では学校だけでなく、地域や保護者の方の力をお借りしながら、自分の将来を展望できるようにしていきたいと考えています。2学期には東見が丘マリンヒルズゴルフクラブで行われる『山陽新聞レディースカップ』での社会見学プログラムへの参加も計画中です。小規模の学校だからできる温かな交流を今後も積極的に行っていきます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

校長 大山 都